

2021年9月11日、12日 北アルプス明神岳東稜～南西尾根
メンバー；L谷内、倉澤、若奈、野中

残雪期に何度か計画しつつもかなわなかった明神東稜にようやくのこと行ってくることができました。泊まり装備と水と登攀具を背負っての登攀で体力、技術ともに必要とされる登りごたえのあるルートで十分楽しむことができました。

9/11 小雨～曇り～晴れ

AM4時茅野発 - 5:20 沢渡駐車 - 5:50 タクシーで上高地へ～そここの降りとなってくる中カッパを着て 6:10 出発 - 7:10 明神 - 明神橋を渡り対岸に行き 100m 程上流で信大山岳科学研究所の前から小川を 2 回渡り下宮川谷へ。右岸に道がついているが所々倒木で荒れ気味でペナントを探しながらつめ上がり対岸の赤ペンキ印が確認できた所から宮川の科尔を目指し一頑張りで 8 時科尔着。科尔付近は広々としたガラ場状でルート見つけにくかったが左上方岩壁帯基部を目指し斜上し、更にガレ場を何度か横切るように斜上を続け 10:20 小さなひょうたん池着。雨も上がり蒸し暑く、虫多く防虫ネットがあればよかった感じ。ここからは主尾根を忠実に詰めあがって行く。しばらくして「階段」と言われるやせた岩場に出合う。1 ピッチ目はフリーで容易であったが 2 ピッチ目の出だしがややいやらしくロープを出す。3 ピッチ目は取り付きでお助け紐をだしクリア。その後はハイマツの急登帯で苦しめられ小ピークに登り切りようやく眼下にラクダの科尔が望まれ 14 時本日の目的地に到着。テンバは限られており 4 人用テントを設営後大休止しているとしばらくして神戸労山四人組 4 天、更に遅れて二人組 2 天が張られ満席状態となる。朝の早立ち行動で正解であった。雲が徐々に上がり眼前にバットレスが姿を見せてくれる。明日のルートを思い描き期待を膨らませ早めに就寝。

9/12 満天の星空～快晴～薄曇り 風ありやや肌寒し

AM5:10 明るみ始めると同時に一番で取り付きへ。1 ピッチ目は最初の 5m ぐらいの岩場を登り一旦切って、その後 10m ぐらい左手にトラバース後浅い草付きルンゼ状を 30m 程登りバットレス基部へ。2 ピッチ目 20m が核心部である。ピンベタ打ちの凹角状フェースから取りつき途中で大股を開き右手に移り込みテラスへ昇り終了。快適なピッチであった。その後草付き帯を右上気味に 1 ピ

ツチ行き岩壁に突き当たった所から左上気味に巻き上がるのだがぐずぐずの斜面で落石要注意な箇所であった。7:50 待望の主峰着。前穂に向かう神戸組と写真を取り合い我々は2峰へ。正面左手凹状にルートを求める。最初の数mを慎重に越え25mくらいで切り、その後は大まかなガリー状を25mくらいと2ピッチに分けクリアし9時2峰上。危険地帯を終え一息ついてロープ撤収後3峰は岳沢側をトラバース気味に巻き降りしっかりした切り開きを進み最後に一登りでウッドシャフトピッケルの立つ5峰に10:05着。GW山行と同じ構図で写真撮影後5峰台地を経て長くて暑くて笹で滑りやすい南西尾根を忍の一字で下り降り13:05 岳沢登山道7番標識地点へ。ここからは快適な下山で14時と早い時間に上高地に着けたおかげで待ち時間なくタクシー乗車となり下界へと向かった。